

期間中  
ゆかた姿の方  
入園料無料

# 夏は、 ゆかたで 水前寺

わたしたちも  
頑張っています

## 第7回 水前寺成趣園ゆかた月間

期間中、ゆかた姿の方は入園料無料

令和2年 8月1日(土) ~ 8月31日(月)

※ 夜間開園はございません



## ご挨拶

日頃より、水前寺成趣園をご利用いただきありがとうございます。  
この「ゆかた月間」は、熊本の暑い夏を成趣園で快適に過ごしてもらうとともに、涼感を満喫してもらおうと始めたもので、今年で7回目を迎えます。

今回はコロナウィルス感染拡大防止の為、夜間開園やコンサートは行いませんが、「ゆかた月間」中はゆかた姿でご来園の方の入園料を無料とします。

熊本地震で倒壊した出水神社の鳥居がまもなく完成します。国の名勝・史跡に指定された美しい庭園と、細川家歴代藩主と玉（ガラシャ夫人）が祀られている出水神社で、夏の思い出をつくりませんか。多くの皆様のご来園を心よりお待ちしております。



出水神社 宮司  
岩田 徹



湧くからに 流るからに 春の水



しめ縄や 春の水湧く 水前寺（自筆）



鼓うつや 能楽堂の 秋の水

### 成趣園新名所 夏目漱石の句碑

夏目漱石が熊本滞在中に度々成趣園を訪れ、多くの俳句を詠んでいました。そのうち、3句の句碑を熊本地震で倒壊した参道大鳥居の御影石で平成29年に建立しました。その中の1つは漱石の自筆です。



永青文庫提供

### 水前寺庭中之図（部分）

江戸時代後期に細川藩の御用絵師である内尾栄一が、水前寺成趣園と遙か阿蘇の山々を望む情景を描いたものです。杉谷行直が西側向きに描いたものと一対となっています。なお、水前寺成趣園の名前の由来は、細川綱利が陶淵明の漢詩『帰去来辞』の一節「園日涉以成趣」にちなんで命名されました。